(ｲ) 言葉のもつ音やリズムに触れたり，言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。

イ　我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 昔話などについて，読み聞かせを聞くなどして親しむこと。

(ｲ) 遊びを通して，言葉のもつ楽しさに触れること。

(ｳ) 書くことに関する次の事項を理解し使うこと。

㋐　いろいろな筆記用具に触れ，書くことを知ること。

㋑　筆記用具の持ち方や，正しい姿勢で書くことを知ること。

(ｴ) 読み聞かせに注目し，いろいろな絵本などに興味をもつこと。

〔思考力，判断力，表現力等〕

A　聞くこと・話すこと

聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　教師の話や読み聞かせに応じ，音声を模倣したり，表情や身振り，簡単な話し言葉などで表現したりすること。

イ　身近な人からの話し掛けに注目したり，応じて答えたりすること。

ウ　伝えたいことを思い浮かべ，身振りや音声などで表すこと。

B　書くこと

書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　身近な人との関わりや出来事について，伝えたいことを思い浮かべたり，選んだりすること。

イ　文字に興味をもち，書こうとすること。

C　読むこと

読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　教師と一緒に絵本などを見て，示された身近な事物や生き物などに気付き，注目すること。

イ　絵本などを見て，知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。

ウ　絵や矢印などの記号で表された意味に応じ，行動すること。

エ　絵本などを見て，次の場面を楽しみにしたり，登場人物の動きなどを模倣したりすること。

○２段階

(1) 目　標

ア　日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに，いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。

イ　言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合い，自分の思いをもつことができるようにする。

ウ　言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

(2) 内　容

〔知識及び技能〕

ア　言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じること。

(ｲ) 日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。

(ｳ) 身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れること。

イ　我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり，言葉などを模倣したりするなどして，言葉の響きやリズムに親しむこと。

(ｲ) 遊びややり取りを通して，言葉による表現に親しむこと。

(ｳ) 書くことに関する次の事項を理解し使うこと。

㋐　いろいろな筆記用具を用いて，書くことに親しむこと。

㋑　筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して，写し書きやなぞり書きなど，書写の基本を身に付けること。

(ｴ) 読み聞かせに親しんだり，文字を拾い読みしたりして，いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。

〔思考力，判断力，表現力等〕

A　聞くこと・話すこと

聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよ